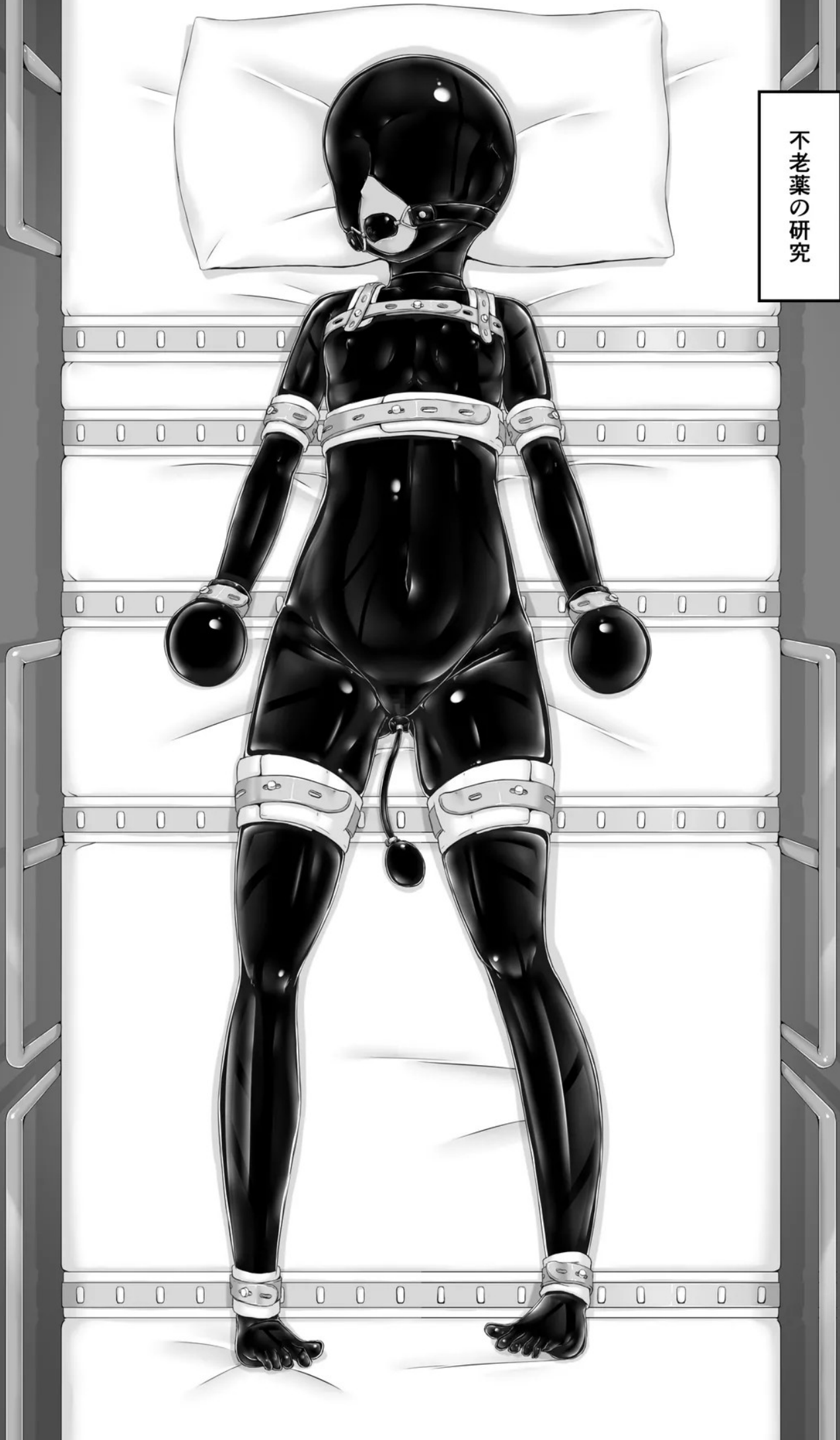




Beginning black9



不老薬の研究



入監



その資料を見て私の中に
抑えきれない嫉妬心が生まれた
私の知らない世界に嫉妬した

今までなんの苦難もなく生きてこれた
それは言い換えると今まで
何も成し遂げずに生きてきたということ
こんな近くに社会のルールを逸脱した
世界があることを知った
退屈で無価値な自分を変えられると思った

私は何の躊躇いもなく
非現実的な世界の中へ踏み入れた
来る日も来る日も研究に明け暮れた

病院からの個人データをも元に
適正の有りそうな人材を拉致し
国の力を使って隠蔽した
企業の技術支援のもと出来上がった
研究機材で実験、膨大なデータの収集…
実験を重ねるうちラバーを用いた
刺激が最も効果的だった

ラバーを使用した実験は
実験体の性的快楽向上に
向いているのではなく
ラバーに適応した実験体が
良い数値を出すことが分かった

ST-50をより効率よく採取するため実験体の
全身の感度を約30倍ほどに引き上げる
引き上げられた感度での事故を防ぐためと
常に刺激を加えるためにラバースーツを
実験体に着用させている

適応できず壊れた実験体を
何百体と見てきた
身体を黒く染め上げ
締め付けられている実験体は
牢獄に閉じ込められた囚人の様

しかし大きな進展はなく
時は過ぎていく
資金や人材は無限ではない
なくなっていく資金を人材で
補うようにもなってきた

擴張



ギョルルルル...

プー

プー

ギョルルルル

ギョルルルル

ギョルルルルル

ギョルルルル

ギョルルルル...

プー
プー
プー

プー

プー

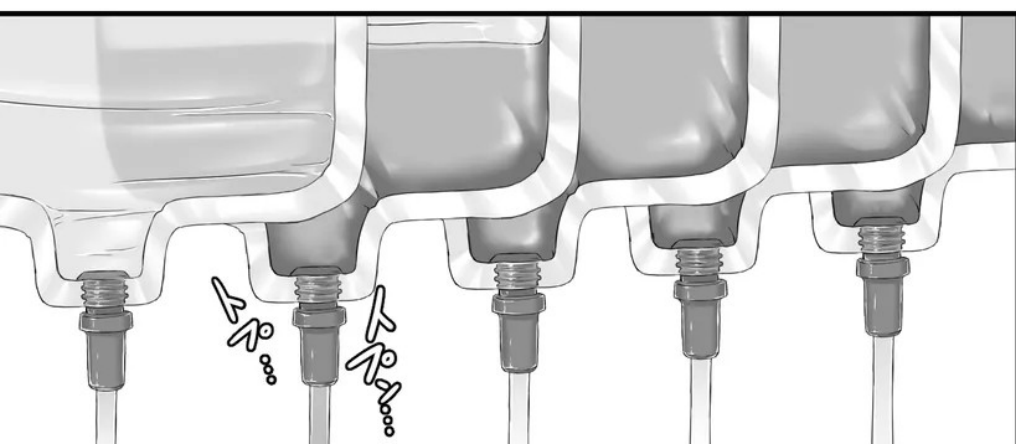
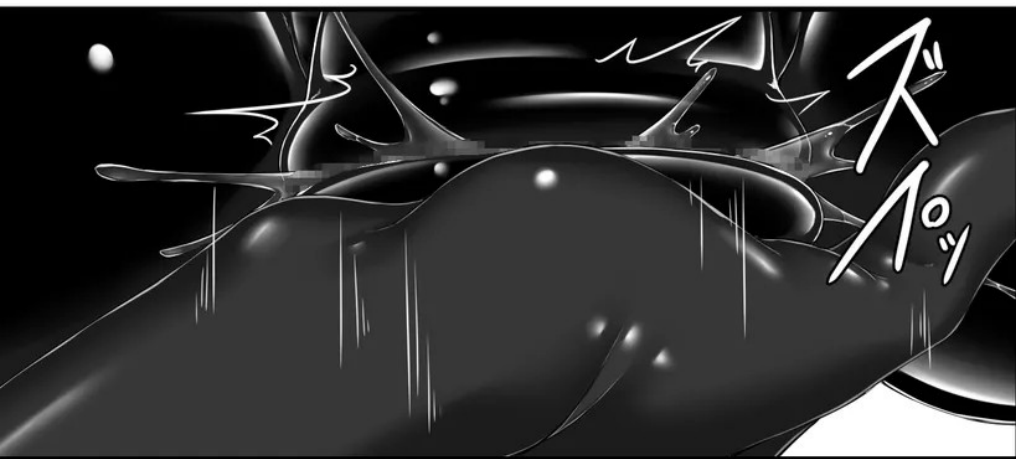
逸材というものは
これまでの全てを
なかったことになってしまう

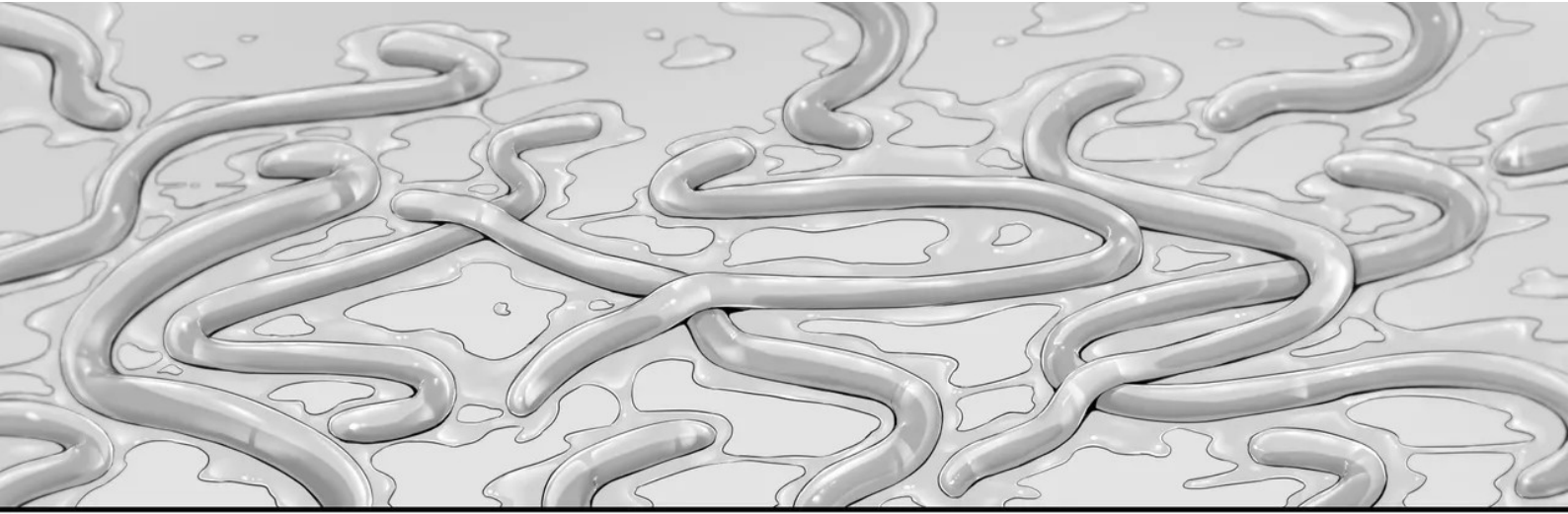
プー

逸材というものは
これまでの全てを
なかったことにしてしまおう



私の研究はそんな一人の逸材によって進展した
同時にそれまで集めた人材や多くの研究施設が不要なくなった

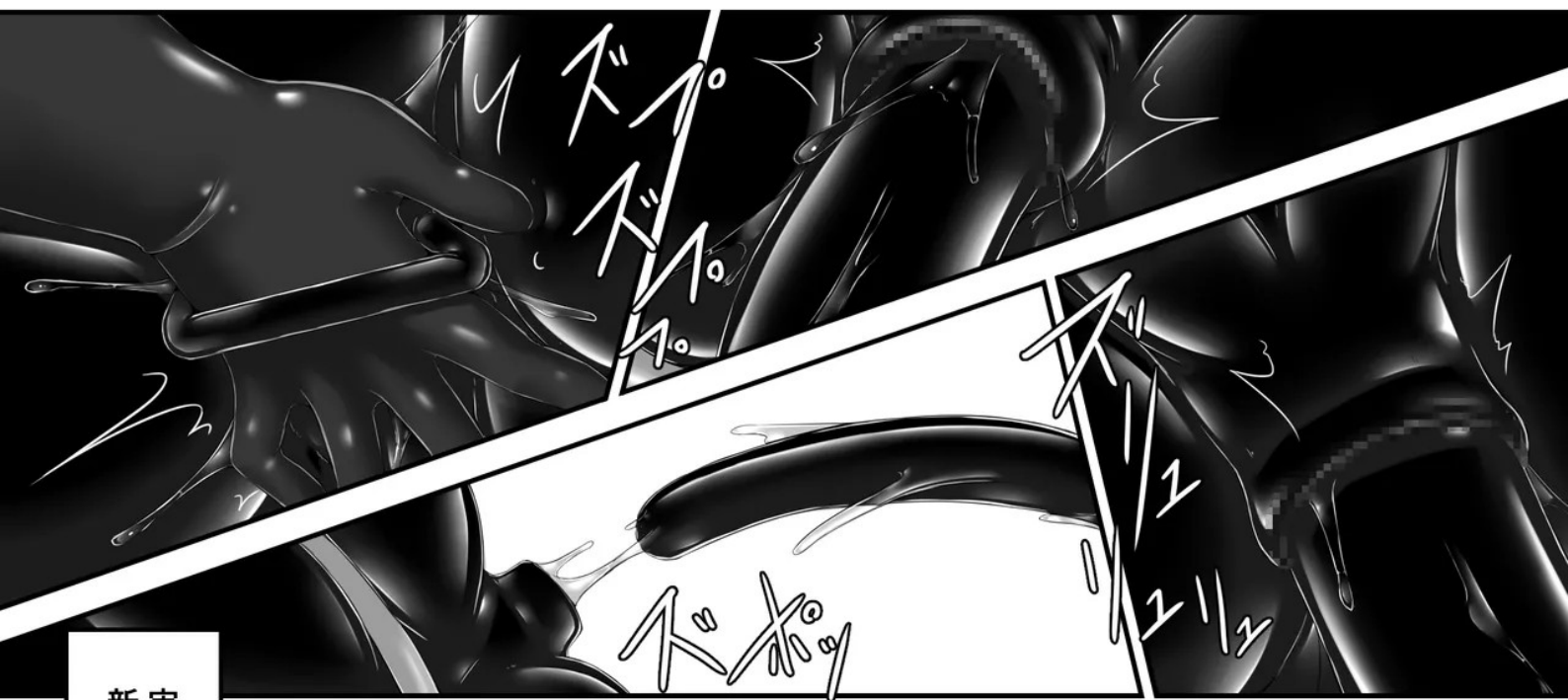




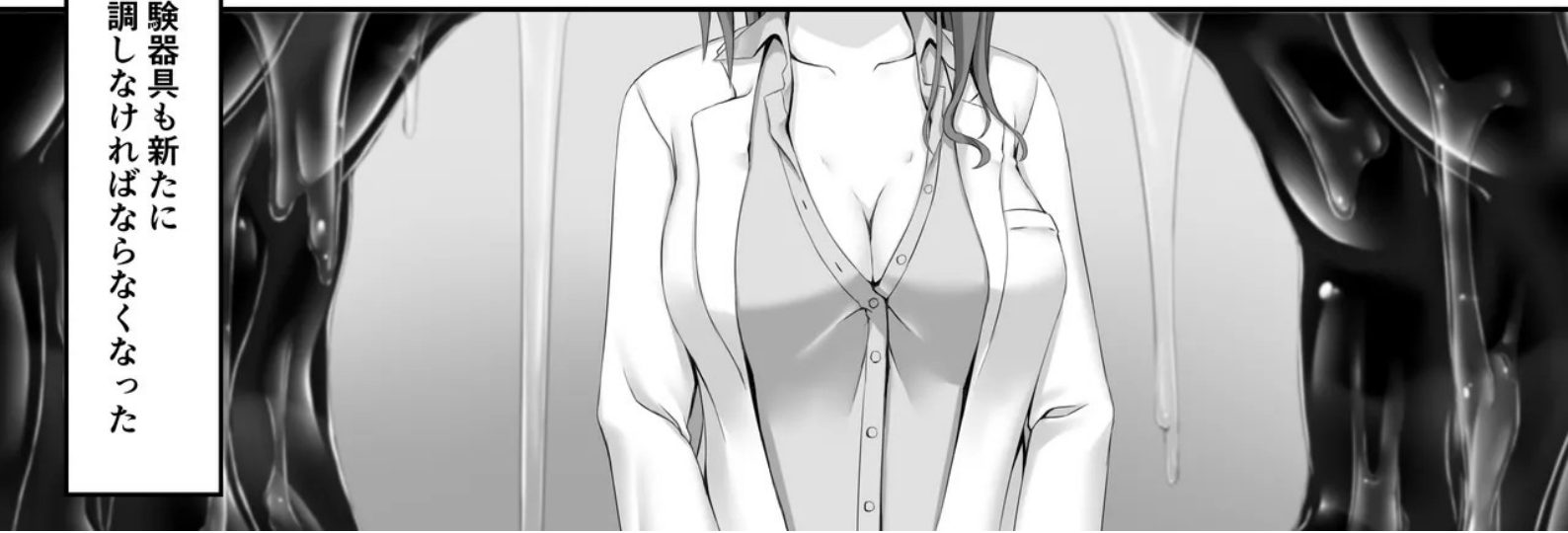
この実験体が手に入ってから研究所や設備
研究員や実験体などはすべて研究資金へ変えた
今はこの小さな研究施設で必要最低限の設備と
私一人で研究を続けている

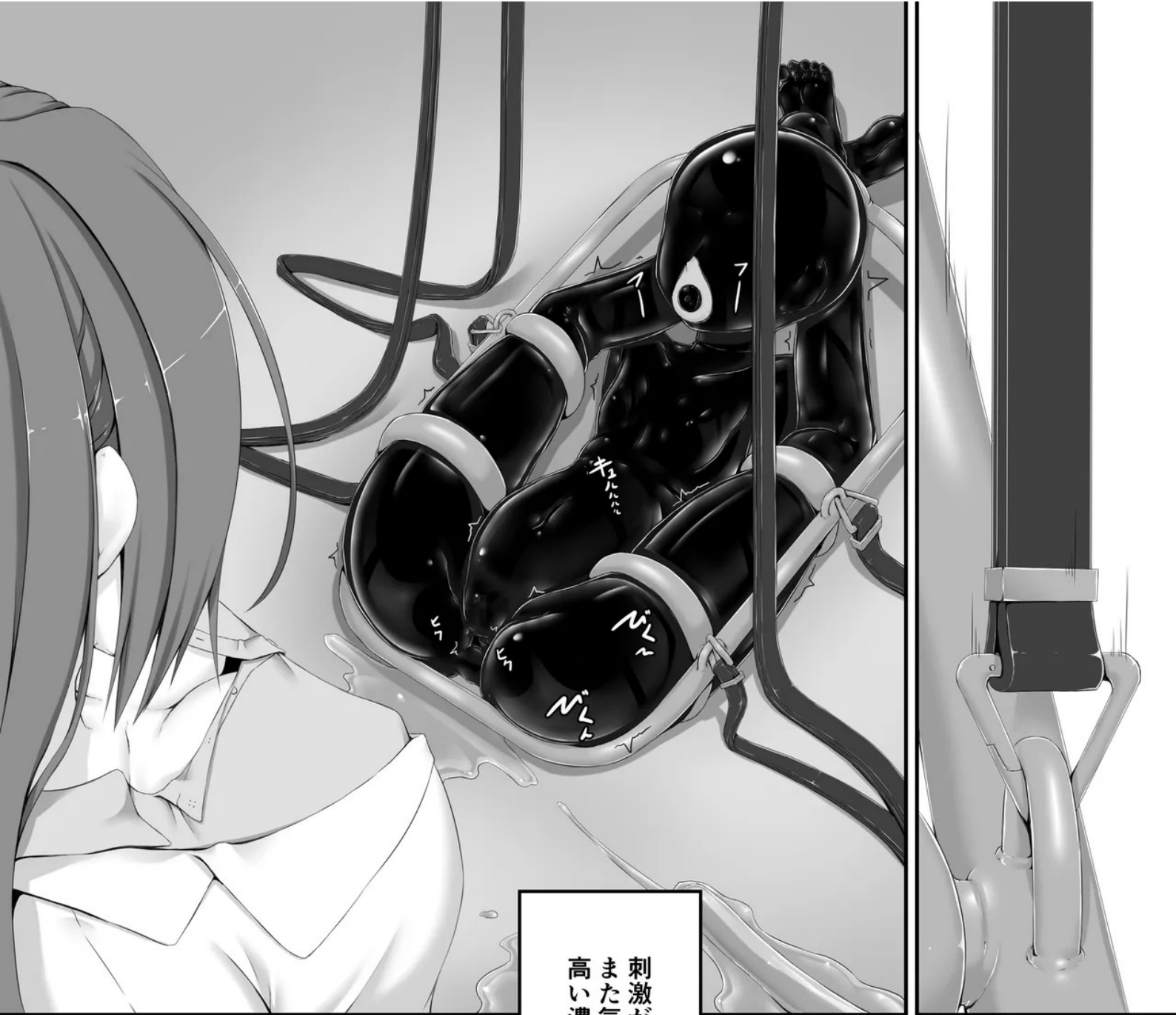


データの結果は素晴らしかった
今まで求めていた数値を大きく
超えるデータばかりだ

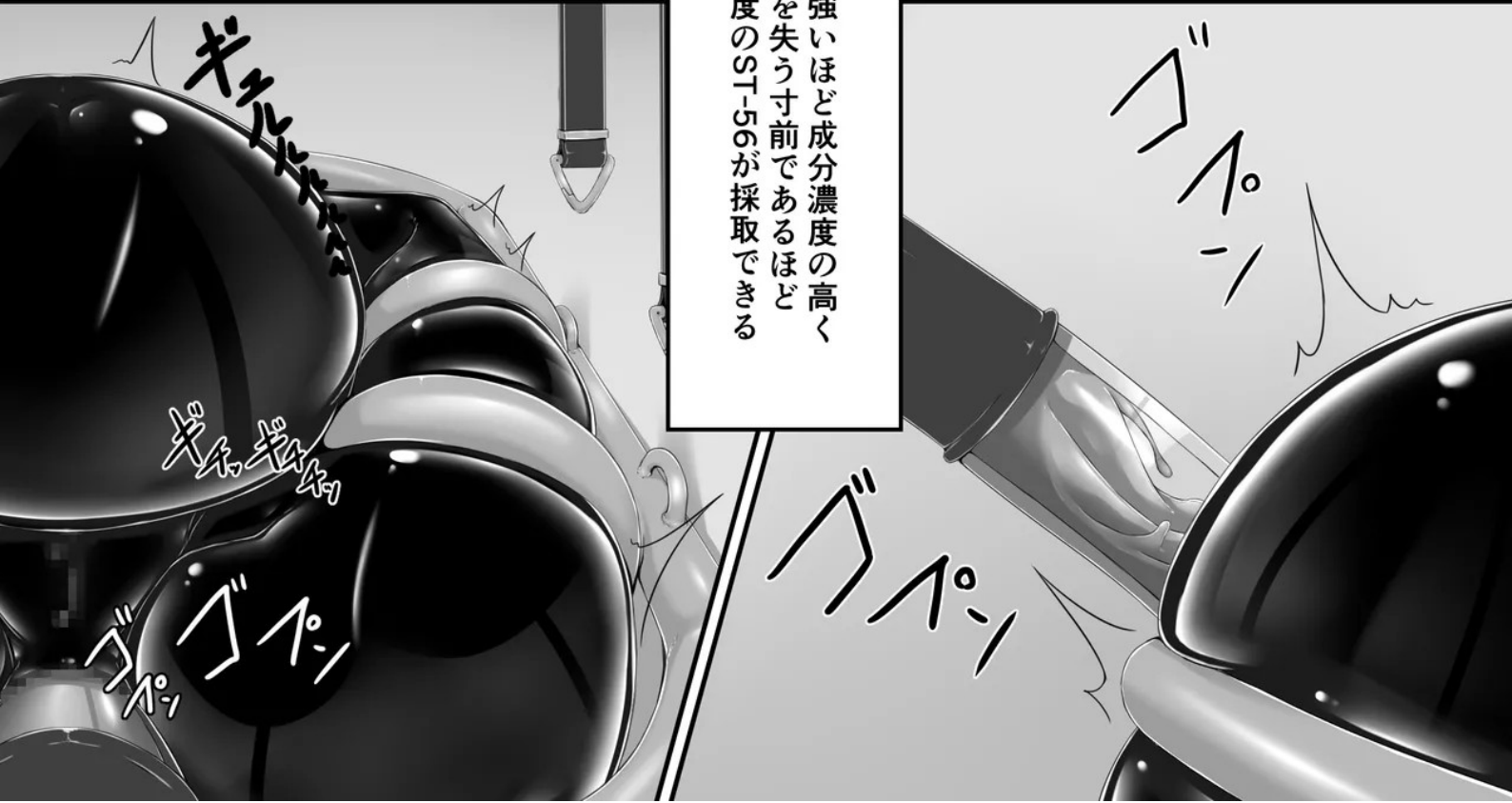


実験器具も新たに
新調しなければならなくなった



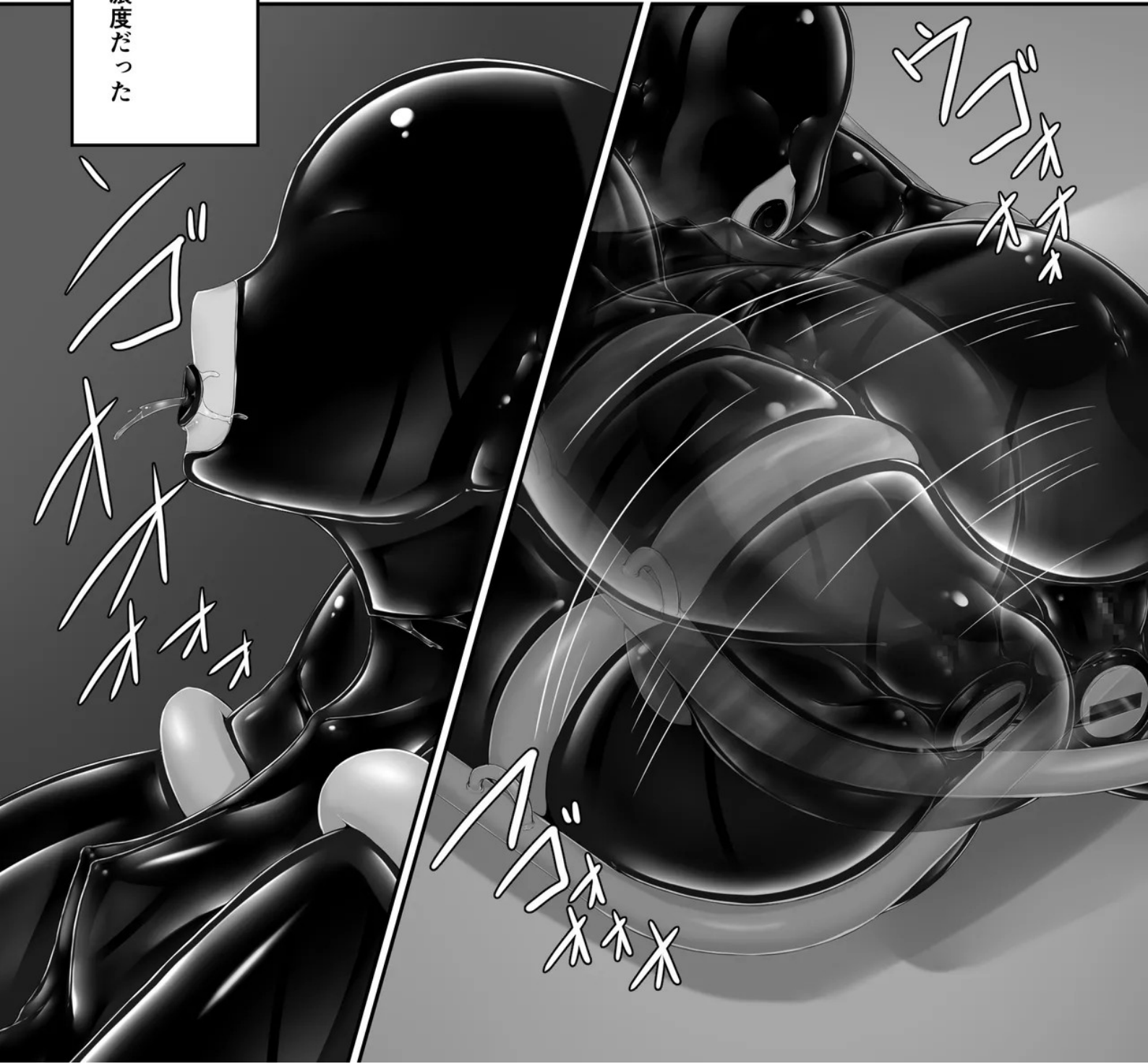


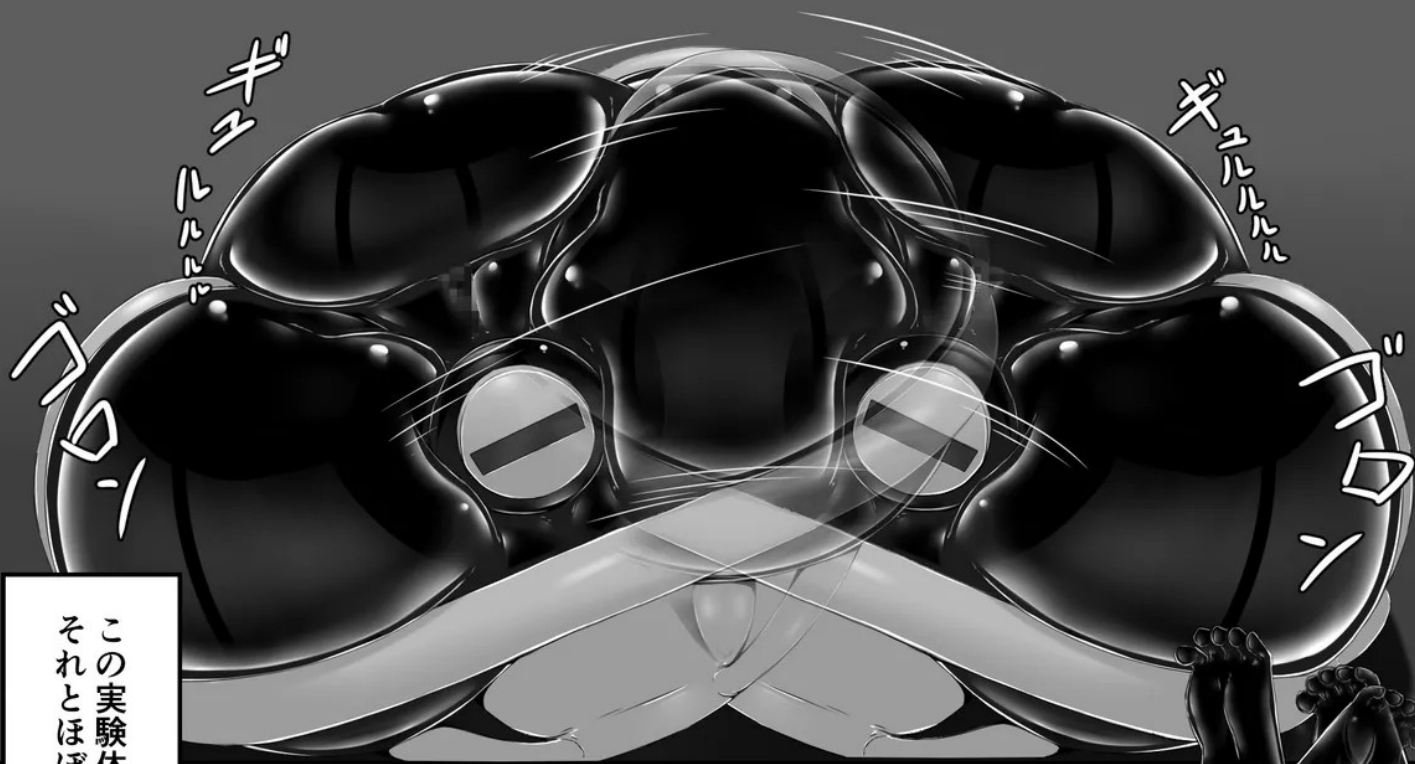
刺激が強いほど成分濃度の高く
また気を失う寸前であるほど
高い濃度のST-56が採取できる



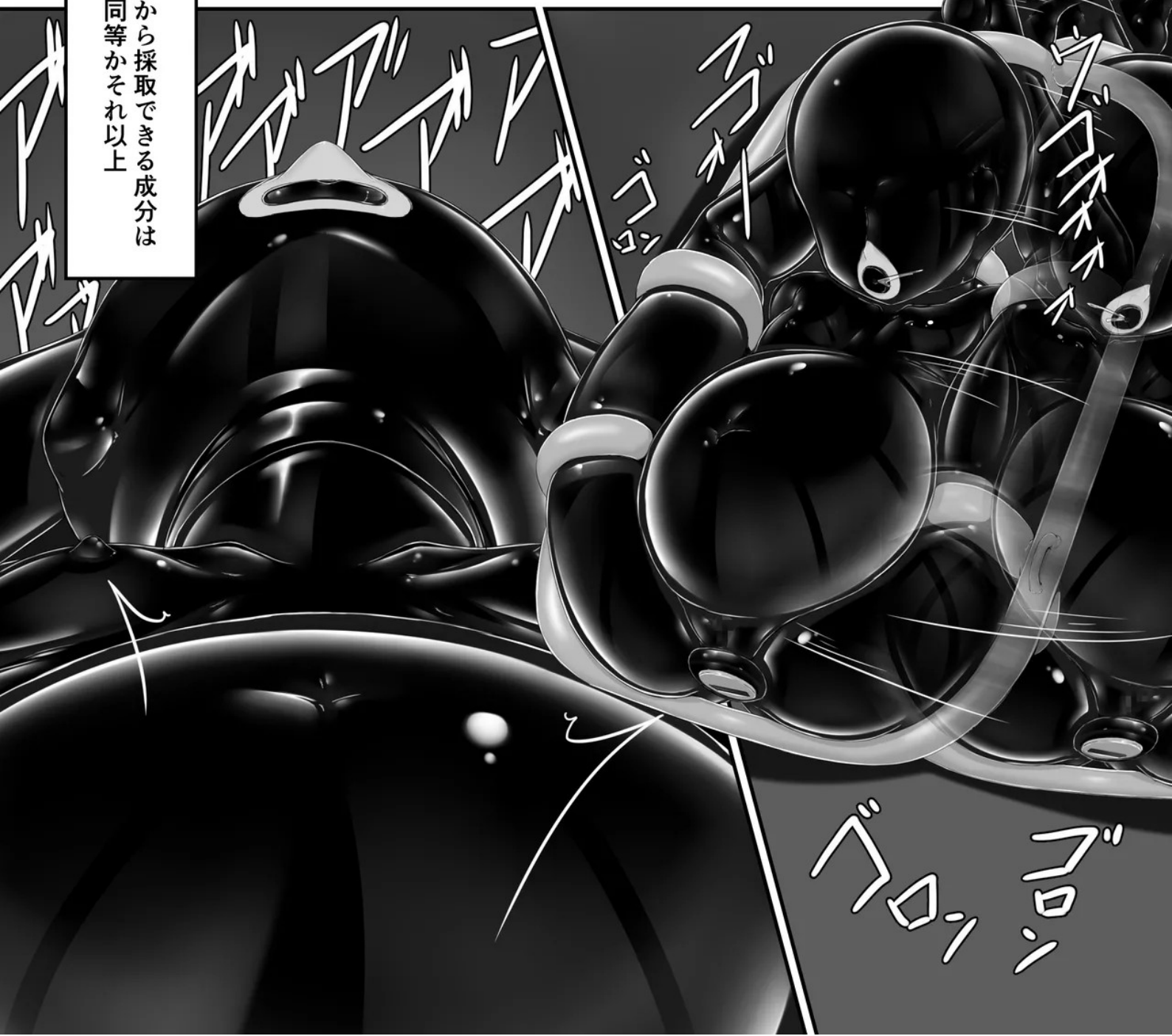


過去の実験で器材の不具合により
実験体を失ったことがある
その実験体から採取されたST-56の
成分濃度は普段採取できる何倍もの濃度だった





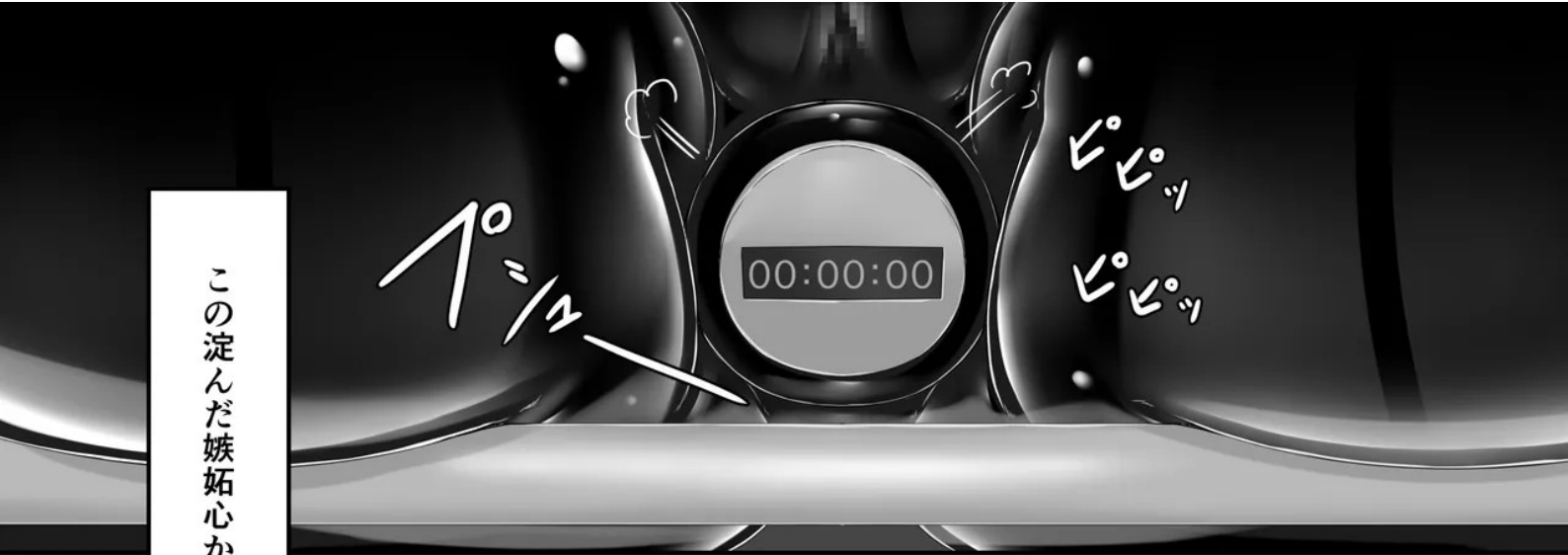
この実験体から採取できる成分は
それとほぼ同等かそれ以上



この実験体は私を救ってくれるのだろうか…



この淀んだ嫉妬心から...



私は自分の人生を賭ける

ドッ

ガキーン

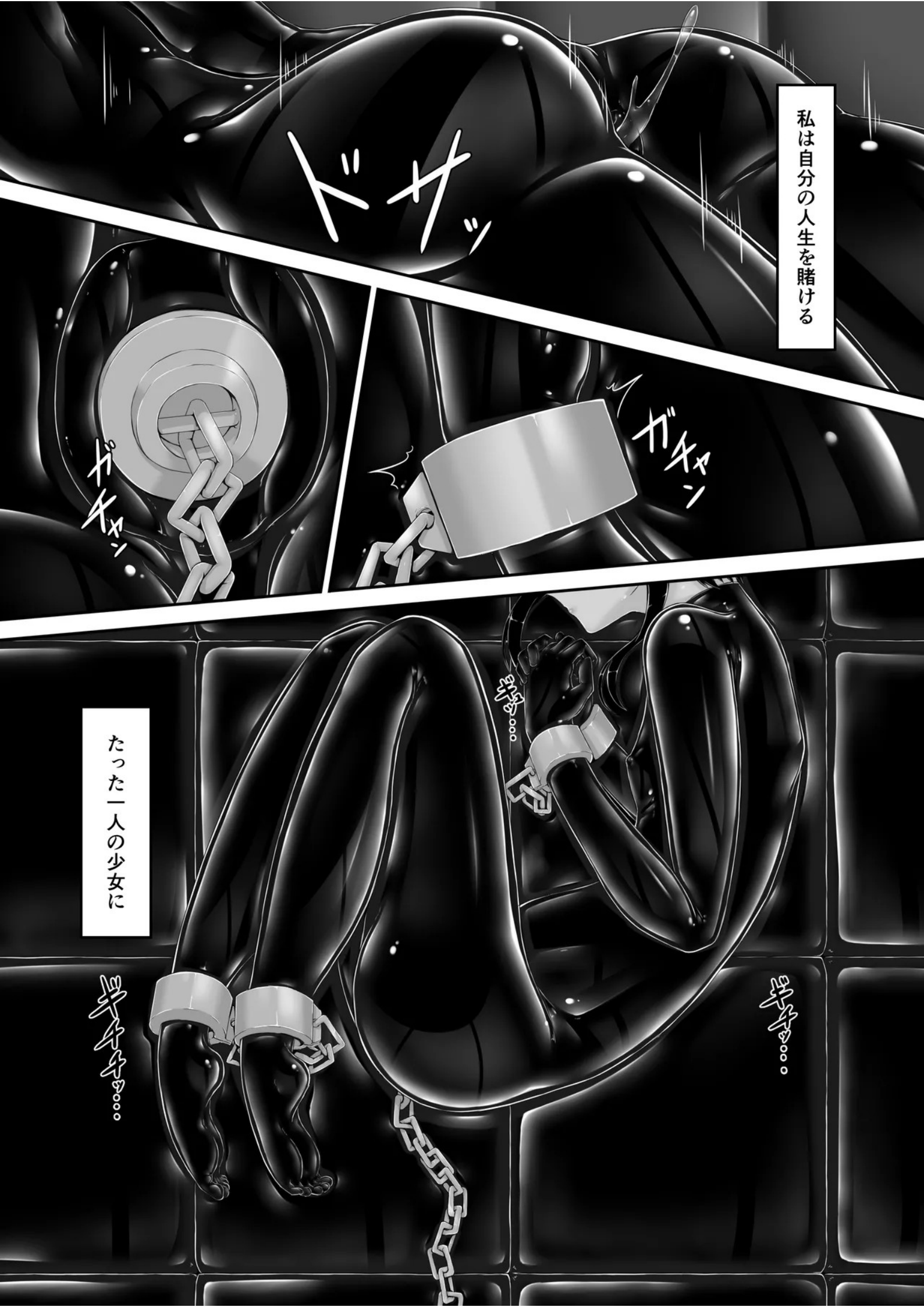
ガキーン

たった一人の少女に

ギョッ……

ギョッ……

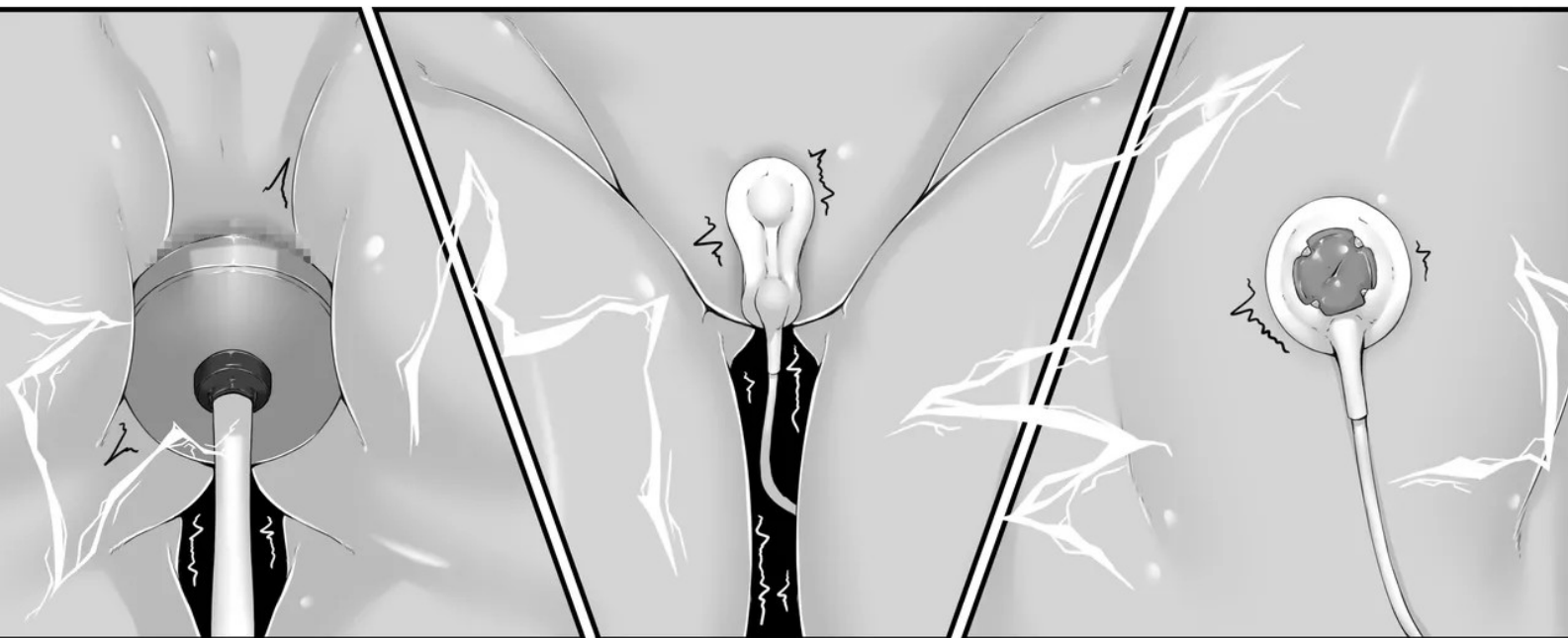
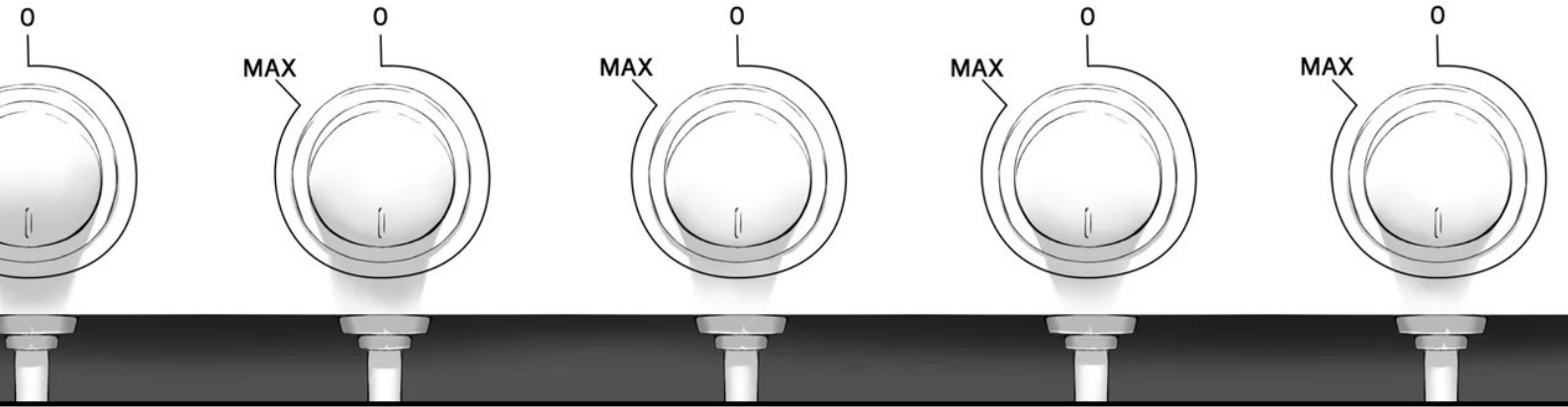
ギョッ……



調教

実験を繰り返していくうちに
実験体の体には異変が起きていた





気を失う頻度は減り
身体は常にオーガズムを
感じているトランス状態にも
かかわらず正気を保っている

それにもかかわらず採取されるST-56の成分濃度は数値を保ったままでなく実験を重ねる度に数値を上げていく


70

70

70

70





逆に刺激のない状態だと精神状態が不安定になることが多くなった
身体的特徴にも現れ身長が5センチほど縮み拡張した肛門なども
開肛器などの器具をつけてないければ8時間ほどで元のサイズへと戻ってしまう

あまり表には出したくないが
過去の研究から人の目に晒されることも
効果的であることが分かっている

ズズ...

ズズズ...

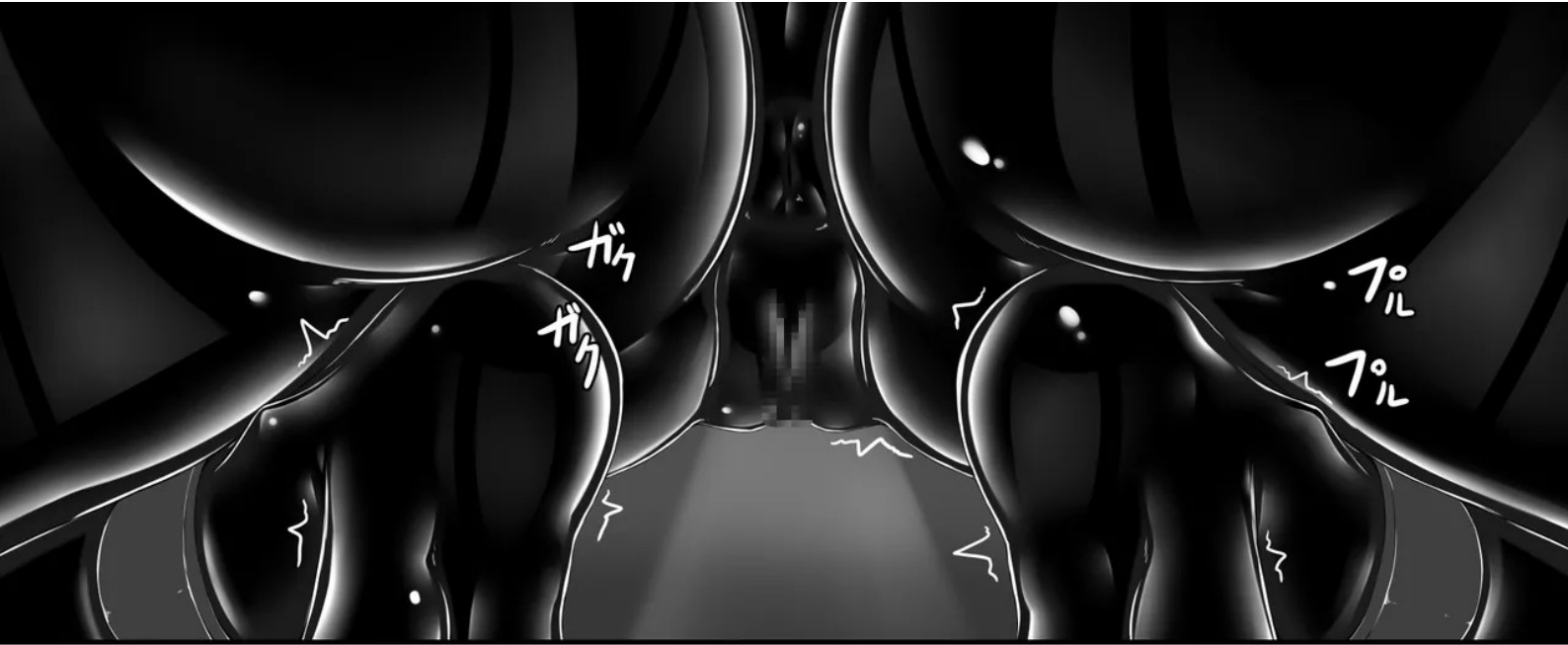
フル
フル

ゴウザク

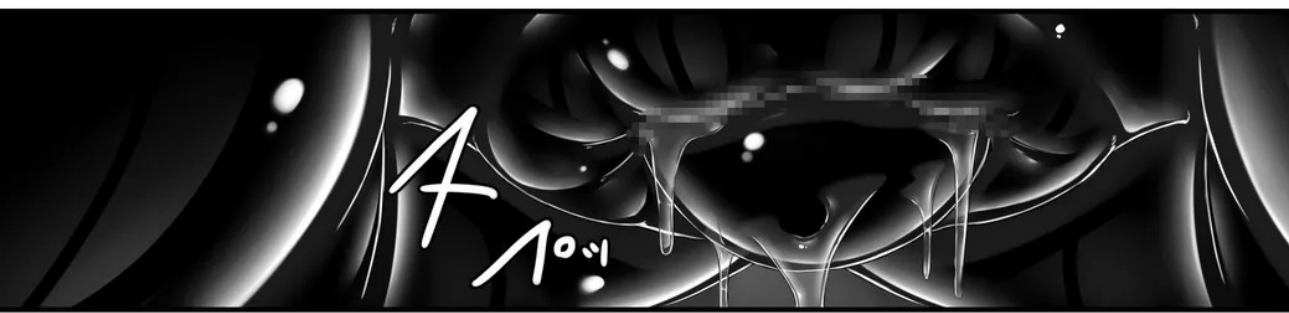


実験体への刺激は身体だけでなく
精神面への刺激も大きく関係する
実験体からより良いS-T-Sの採取するには
欲求や過去のトラウマなど様々な要因がある





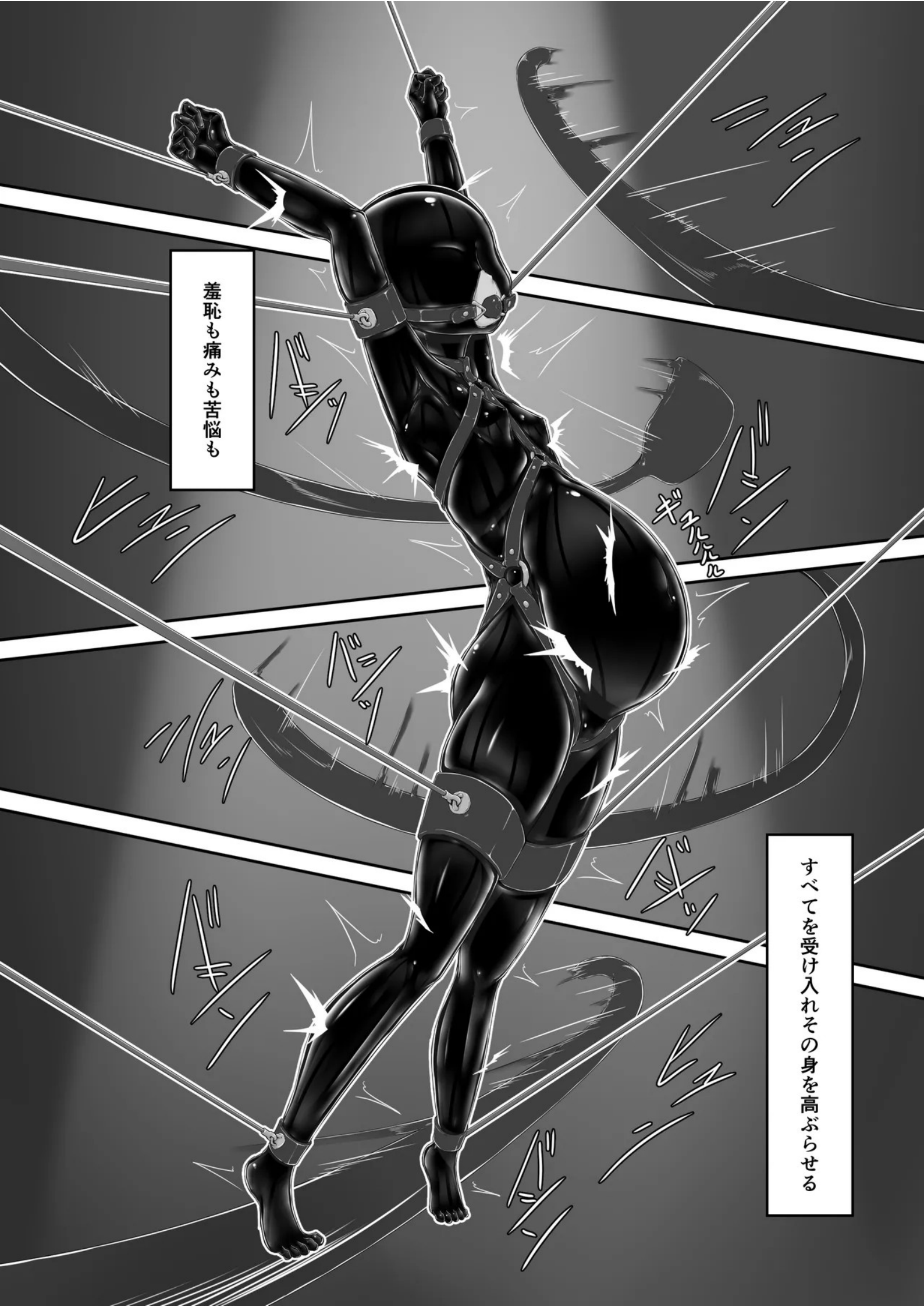
規格外の実験もこの実験体は
私の予想を超えてくる



そしてそれは今私の手の中にある




誰にも渡さない



羞恥も痛みも苦悩も

すべてを受け入れその身を高ぶらせる



もはやこの実験体の快樂時に
腸壁から分泌される濃度の
高い成分はS-15のとは大きく異なり
高い数値であることから
私はこれをSL-962とした



人間離れたこの実験体の
身体にはいったい何が起こっているのだろうか

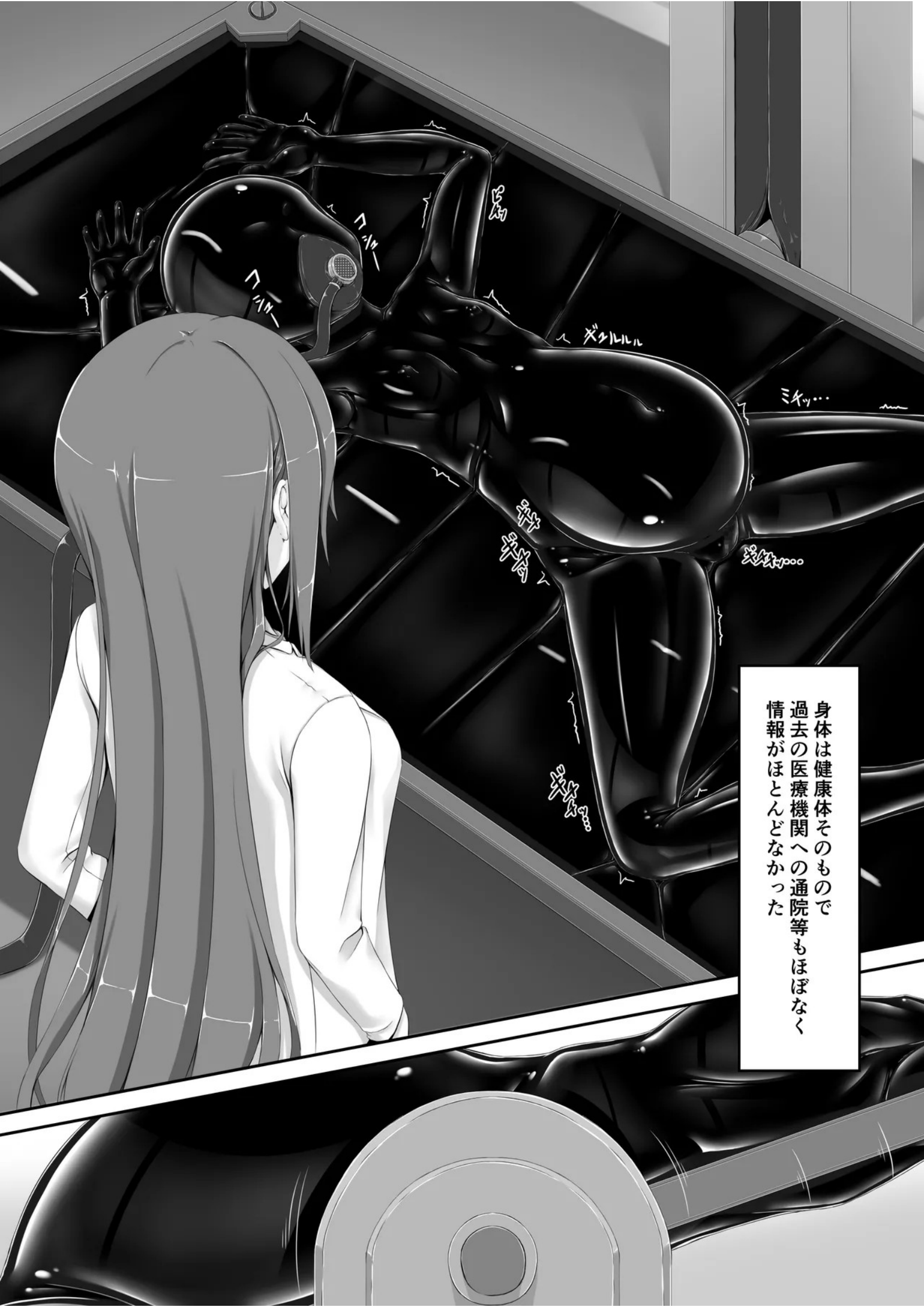
SL-962採取には問題がないため
このまま実験を続ける

榨
取



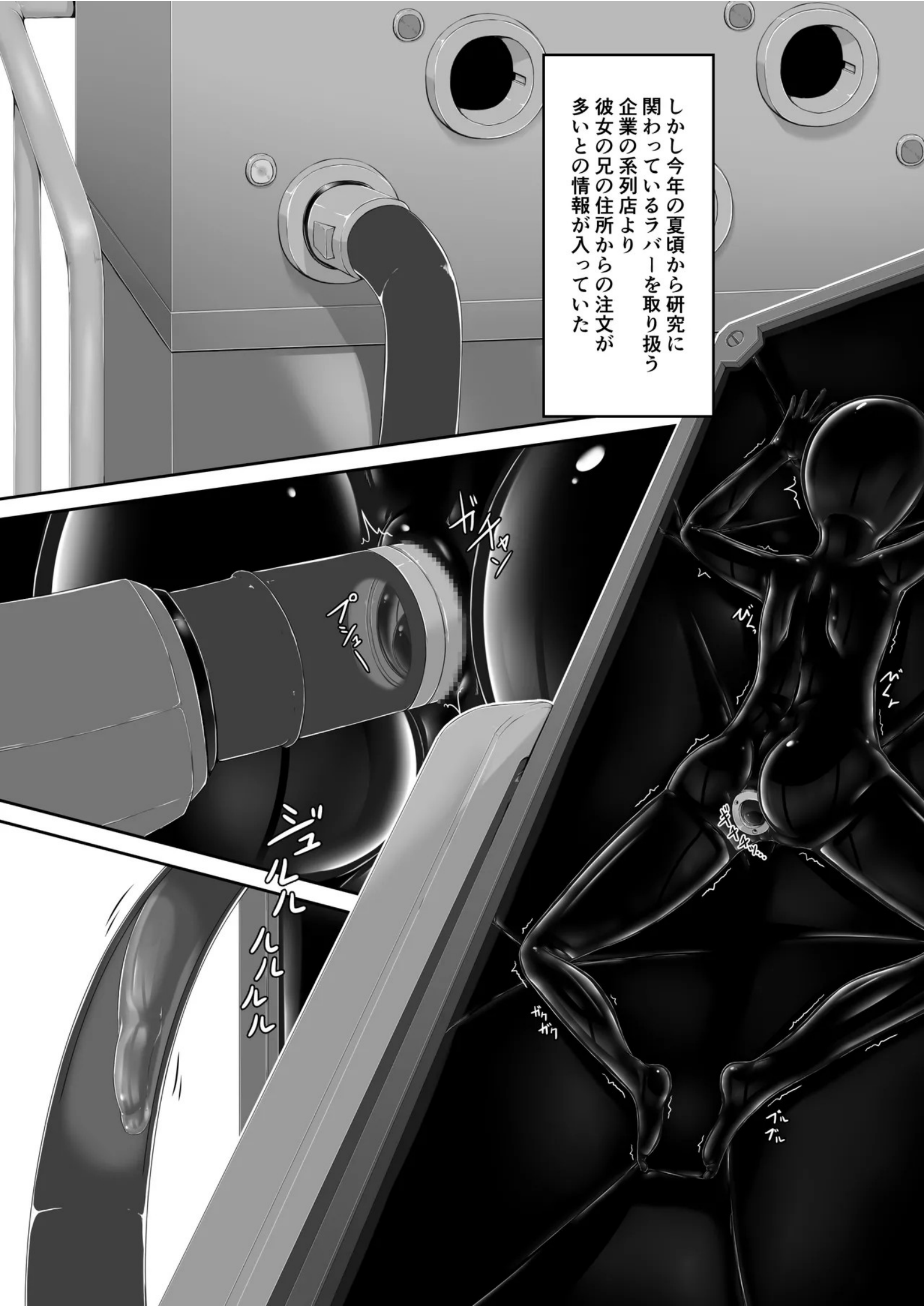
彼女は兄の治療費を肩代わりする事で
私の元へとやってきた
そしてもう一つ私以外が触れない事



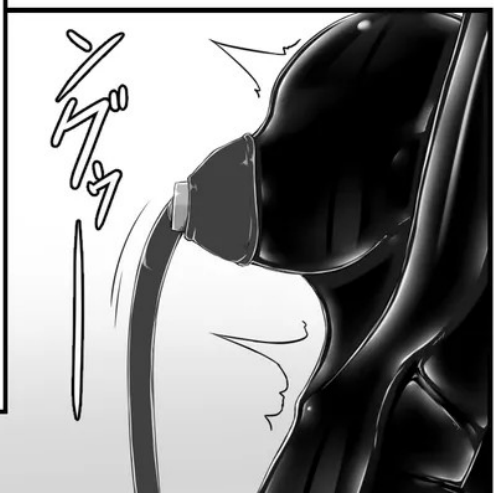
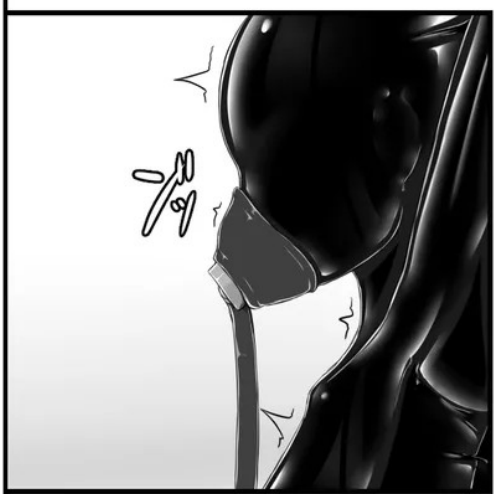
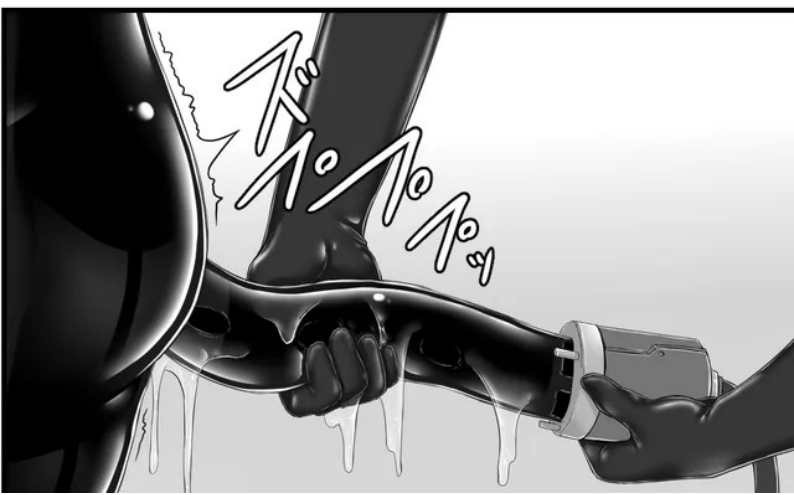
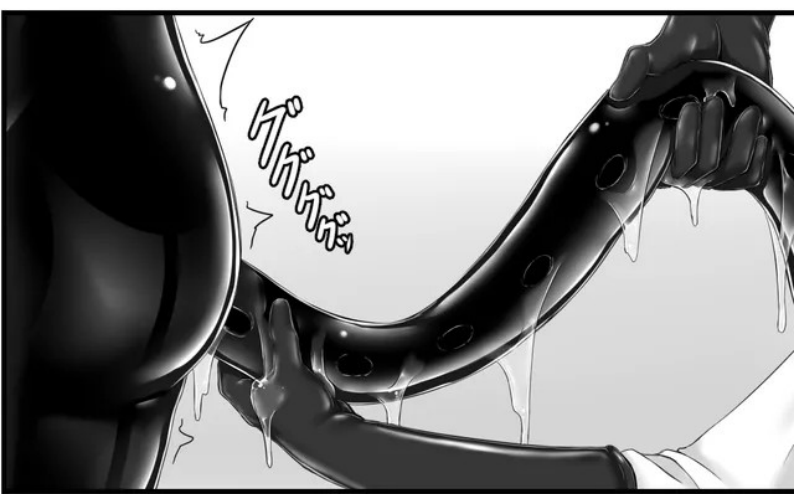
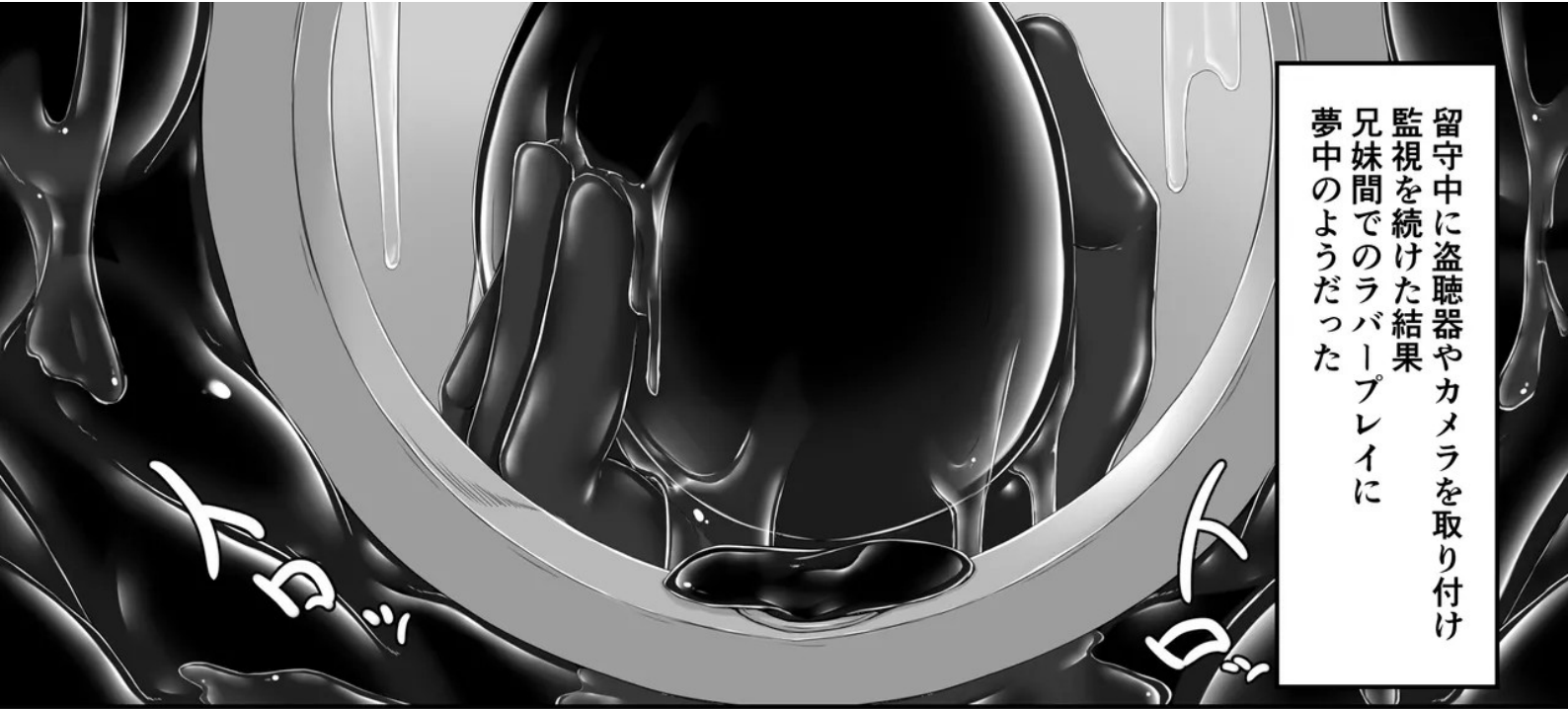


身体は健康体そのもので
過去の医療機関への通院等もほぼなく
情報がほとんどなかった

しかし今年の夏頃から研究に
関わっているラバーを取り扱う
企業の系列店より
彼女の兄の住所からの注文が
多いとの情報が入っていた



留守中に盗聴器やカメラを取り付け
監視を続けた結果
兄妹間でのラバープレイに
夢中のようなだった



妹のマゾヒスティックに兄のサデスティックなプレイを日常的に行っており
二人とも常識の範疇を超える性癖であることがわかった

留守中に盗聴器やカメラを取り付け
監視を続けた結果
兄妹間でのラバープレイに
夢中のようなだった



妹のマゾヒスティックに兄のサデスティックなプレイを日常的に行っており
二人とも常識の範疇を超える性癖であることがわかった

彼女は兄の治療と引き換えに
私の研究の実験体になることを了承した
穩便に済ませるための契約であり
最初から実験体にするには決まっていた



壊れた身体を常に締め付けられ快樂へと
誘われ続けるそんな拷問の様で極楽な一生を受け入れた

ギョルルン

ギョルルン

ドゥルルルル

私は必ず彼女を使って不老の薬を完成させる

…まるで私は壊れない玩具を与えられた子供の様



あとかき

こんにちはしょーやんです！
2024年も終わりですがいかがお過ごしでしょうか。

さて今年ラストの妄想美術部の作品ですが、
「BeginningBlack9」を描かせていただきました。
前から「BeginningBlackはもう描かないのですか？」
系のDMを頂いていたのですが、
なかなか話がまとまらずBeginningBlack8(下)から
1年と8ヶ月空いてしまいました。
長らくおまたせして申し訳ありません。

今回のBeginningBlackでは、話が8で一旦落ち着いたので
「シンプルに徹底的に」をテーマに描いてみました。
自己投影しやすいように内容は社長の一人語りのみで
セリフをなしにしてみました。かなり読む側の妄想力に
頼る形になってしまいましたが、いかがだったでしょうか？
次の10では今回のキャラをより完成形にしていこう
かなと思っていますので気長にお待ちいただけると
嬉しいです。

2024年も妄想美術部の作品を読んでいただき
ありがとうございました！
来年も頑張りますので、読んでいただけると嬉しいです！

妄想美術部/しょーやん